

2023～2024年度

The Smile

9・10月号
SEP・OCT

LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 330-B JAPAN



●11月ガバナー公式訪問合同例会・小会議



ガバナーテーマ

「Changing the World」
世界を変える



●6月ガバナー公式訪問合同例会・小会議

パーソナルテーマ

情熱と真心

サブテーマ

～明るく!楽しく!元気よく!～

ライオンズクラブ国際協会330-B地区

(神奈川県・山梨県・伊豆大島)

<http://www.lions330-b.gr.jp/>

ライオンズクラブ国際協会は世界209の国または地域、134.1万人のメンバーを擁する世界一の奉仕団体です。

We Serve



2023~2024年度
国際会長テーマ

「Changing the World」 世界を変える

国際会長
パティ・ヒル L



CONTENTS

- 1 ガバナーズメッセージ
- 2 ガバナー公式訪問合同例会・
小会議
 - ・ 10R(8月30日)
 - ・ 11R(8月31日)
 - ・ 1R(9月5日)
 - ・ 2R(9月6日)
 - ・ 3R(9月20日)
 - ・ 6R(9月22日)
 - ・ 7R(9月25日)
 - ・ 9R(9月26日)
 - ・ 5R(9月27日)
 - ・ 8R(9月28日)
 - ・ 4R(10月5日)
- 19 4R-1Z 統一奉仕デー
蘇れ!かわさきの海
- 20 クラブレター
 - ・ 小田原 LC
 - ・ 寒川 LC
 - ・ 大和 artistic クラブ支部
- 24 編集後記

ガバナーテーマ

「Changing the World」

世界を変える

パーソナルテーマ



第59代地区ガバナー

L 石田 真一

(4R-1Z 川崎臨海 LC)



●ガバナー公式訪問合同例会で熱弁を振るう

天高く馬肥ゆる秋、メンバーの皆様におかれましてはますますご壮健のことと拝察いたします。

8月30日(水)中澤一浩前地区ガバナー・名誉顧問会議長所属の10Rよりスタートしました今期のガバナー公式訪問も10月5日(木)、私の所属リジョンである4Rをもって無事終了することができました。小会議においては各クラブ会長との座談会形式での有意義な意見の交換ができ、合同例会・懇親会においては大変温かなお出迎えをいただき、多くのメンバーの方々の笑顔に触れ合うことができ、またLCIFにご理解をいただき大変多くの寄付を賜りましたこと心より感謝申し上げます。

10月1日(日)を中心とし「環境」をテーマとした統一奉仕デーでは倉田雅史第1副地区ガバナー、森川吉孝第2副地区ガバナーにもご協力いただき、各地に伺わせていただきました。

稚魚の放流、三椏(みつまた)の植樹、清掃活動にも参加をさせていただき、皆様と共に各クラブの地域に密接した活動を実感させていただきました。改めてメンバーの皆様の奉仕活動に敬意を表し感謝申し上げます。

9月29日(金)にはA.P.シン国際第2副会長が来日。ミッション1.5のセミナーが開催され、たくさんのメンバーの参加をいただきました。

11月2日(木)~11月5日(日)は第60回OSEALフォーラムがフィリピンのマニラにて開催されます。マニラにて皆様にお会いできることを楽しみにしております。

地区ガバナーに就任をさせていただき第一四半期があっという間に過ぎました。引き続き『情熱と真心』の精神でメンバーのためになる運営をさせていただきます。

各クラブのますますのご発展またメンバーの皆様のご活躍・ご健勝をご祈念申し上げます。

ガバナー公式訪問合同例会・ 小会議が厳粛に行われた。

10R

●10R小会議



●石田ガバナーより各クラブへ記念品贈呈



●新入会員(5名)とスポンサーへ記念品贈呈



小会議

- 8月30日(水)11時~12時10分
- アピオ甲府タワー館6F

「キャスル」

会議は倉田雅史第1副地区ガバナーの開会挨拶から始まり、出席役員紹介、各クラブ出席者紹介と進み、石田真一地区ガバナーの挨拶では「この会議が今期初の公式訪問・小会議である。各クラブの会長と有意義な意見交換をすることにより今後に生かしたい」と話された。

各クラブ会長の発表と石田ガバナーの回答は以下(G=ガバナー回答)。

1. 会員増強について

- 会員増強では大いに悩んでいる。1つの対策として例会後、会員増強の話し合いをしている。

G=良いことであり、継続してください。

- 入会しそうな人をリストアップし、情報を共有している。

G=非常に良い考えであり、見本的手法である。

2. 退会者防止対策について

- 楽しい例会を計画し、退会者をできるだけ防止している。

G=退会者を出さないよう、できることから行ってください。

- 休会になっているメンバーに対し、

コミュニケーションをとり入会を促している。

G=大事な活動です。

3. アクティビティについて

- 甲府市が開催する祭りにライオンズクラブも参加しPRを積極的に進めている。

G=地域とともに行うアクティビティは大いに進めてもらいたい。

- フードドライブの活動を市の広報に掲載し市民とともに進めていて、大きな成果になった。

G=市民とともに活動することは素晴らしい。



●LCIF献金目録が甲府シティLCの儀部昇会長よりガバナーに手渡された



公式訪問合同例会

石田ガバナーの公式訪問合同例会が小会議に引き続き、アビオ甲府タワー館にて開催された。石田ガバナーとして今期初の公式訪問合同例会は10Rの15クラブ、170名が参加し盛大に行われた。

石田ガバナーならびにキャビネット役員、随員の入場を全員が起立し、拍手で迎えた。合同例会は甲府東LC天野 一会長の開会ゴングで開始された。

開会の挨拶、国歌ならびにライオンズヒムの斉唱、物故ライオンに対し黙祷、ライオンズの誓い、ガバナー・地区役員の紹介、各クラブの紹介と進んだ。

金井彰彦 10RCのガバナー歓迎の挨拶では遠路来訪の謝意と石田ガバナーが温厚で義理堅く面倒見が良い人柄であると話された。また、「昨年のリジョンとゾーンの組み替えで10Rは1ゾーン増え15クラブの大所帯となりました。しっかりやっていきたい」と決意を述べられた。

石田ガバナーからは「このガバナー公式訪問合同例会が今期の合同例会のスタートであり、午前中の小会議では各会長からの貴重なご意見をいただいた。これからの合同例会でしっかり反映したものにしたい」と話された。

次に来賓挨拶後、石田ガバナーから国際会長ならびに地区ガバナー活動方

針の説明があった。

- もっとエコでクリーンな環境を目指す
 - 世界中にあなたのストーリーを伝える
 - 奉仕の力をフルに引き出す
 - さらに大きな奉仕を実現する
- 続いて、石田ガバナーより記念品の贈呈が行われた。

- 15クラブへ記念品贈呈
- 新入会員(5名)ならびにスポンサーへ記念品贈呈
- MJF 献金者へ記念品贈呈

最後に、ライオンズ・ローア、また会う日まで、閉会の挨拶、閉会のゴングで全てのプログラムが終了した。

取材・撮影：地区ニュース

委員 L長坂 正

特別養護老人ホーム
フレンド神木

ご高齢者の個別ケアを推進!

社会福祉法人 三神会

神奈川県川崎市宮前区神木本町5-12-15
E-mail w.ida.sanshinkai@wish.ocn.ne.jp

11R

ガバナー公式訪問合同例会・小会議

● 11R 小会議



11Rガバナー公式訪問合同例会・小会議は、8月31日(木)ホテル鐘山苑において開催された。

はじめに、小林大希キャビネット副幹事の司会で小会議が開始された。倉田雅史第1副地区ガバナーは「大変お忙しい、残暑厳しい中お集まりいただきありがとうございます。有意義な座談会になるように」と促した。

石田真一地区ガバナーの挨拶では「今期の地区運営をしっかりとやっていきたい、各クラブ会長に各クラブのことを聞くことが一番だと思っている」と活発なディスカッションを望まれた。

各クラブとのディスカッションではクラブでのアクティビティを通じた会員同士の交流、会員増強の取り組みなどが紹介された。その中でも多数のク

ラブから他クラブとの交流や連携が紹介された。横山和幸11R-2ZC、荻原秀祥11R-3ZCともに各会長との仲が良い楽しい話題が紹介され、石田ガバナーから「横のつながりがあることは素晴らしい、ZCと会長の仲が良くゾーン内の結束が強いことがよくわかった。とても有意義な小会議でした。ありがとうございます」と感謝された。

所感として桑原良訓11RCが「独自の奉仕活動も良いことであるが、他の団体などと協力し、ライオンズクラブの活動を知っていただき入会のお誘いをするのも大切である。会員数の問題は年配者を終身会員でいていただくなど、常に純増する取り組みが必要である」と話された。

会場を移し、功刀真佐美11RSの司会で合同例会が行われた。横山ZCが開会のゴングを鳴らしスタートすると、会場は和やかにメンバー同士の交流が始まった。

石田ガバナーの挨拶では「我々の小さな奉仕が地域を変える。その積み重ねが世界を変える。やればできる！どうぞよろしく申し上げます」と奉仕への思いを語られた。

記念品などの贈呈が終わり、笑顔が絶えない合同例会はあっという間に時間を迎えた。

荻原ZCのゴングで閉会し、拍手の中、石田ガバナーならびに地区役員が退場された。

取材・撮影：地区ニュース

委員 L中西 将志



岩野

株式会社 岩野 総合食肉販売

代表取締役社長 岩野 秀夫 (笛吹LC)

本社 山梨県笛吹市石和町松本 490-1 TEL (055) 262-2732 (代) FAX (055) 263-3447



●MJF 献金メンバー

1R

ガバナー公式訪問合同例会・小会議



9月5日(火)15時から1Rガバナー公式訪問合同例会・小会議が、横浜ベイホテル東急にて開催された。

小会議では、石田真一地区ガバナーは、冒頭に「キャビネットからの質問という形ではなく、各クラブ同士が意見交換・情報交換できるような、小会議というより座談会にしていきたい」と挨拶があった。幹事報告・会計報告のあと、座談会が始まった。

会員増強や退会防止、取り組んでいるアクティビティ、統一奉仕デーなど

について、クラブ会長より取り組みが発表された。

横浜LCでは長年取り組んでいるアクティビティとして、フェリス女学院の支援について説明があった。現在は会員50名を目指す取り組みについて決意が述べられた。横浜山手LCでは、結成当初より外国人関係の方が会員に多いこともあり、当初はすべて英語で例会をやっており、ライオンズの祈りを英語で行うこともあるという。地域性を活かした取り組みが発表され、現

在10名の会員増強と子ども食堂の支援に取り組んでいると説明があった。横浜梅桜LCでは、例会前の町内清掃活動を日常的に行い、地域に貢献している。また中華街でパレードや募金活動、中華街での献血を初めて実施するなど、幅広い活動を行っている。加えてメンバーに米沢市の観光大使が所属していることから、米沢市との交流も積極的に行っている。横浜金港LCでは若いメンバーが増えたため、積極的に地区役員に出向してもらい、ライオンズ活



● MJF 献金メンバー

動への理解を深められるようにしている。また、新しいホテルなどができると移動例会などで利用している。現在1Rは76名と地区トップの人数が在籍している。横浜パレードに参加してライオンズをPRする、毎年活動報告の写真集を作るなど、会員増強につなげている。横浜中LCでは、例会を楽しむ工夫を模索中。100名を目指し会員増強に取り組んでいる。横浜東LCでは、しだれ桜の管理のアクティビティに取り組んでいる。またレオクラブを先頭にアクティビティを行い、海岸清掃、ラグビーの支援などに取り組んでいる。横浜中央LCでは、退会防止に力を入れている。会員の居住地域ごとの親睦会を開催している。また、横浜駅西口前で献血活動を行っている。石田ガバナーは、LCIFの支援金を活用するなど検討が可能なのではないかとアドバイスを送り、ライオンズも設立当初は親睦会が多くあったと聞く、それを大切にしていってほしいと激励した。

ここで一旦休憩を挟み、座談会が再開された。

横浜長者LCでは、現状1名入会させるのに大変苦戦している。まず一步を踏み出したいと決意が述べられた。横浜伊勢佐木LCでは、大通り公園でのアクティビティなど地域に根差した取り

組みについて発表された。横浜元町LCでは、女性のみクラブの特性を活かし活動している。主婦なので昼に例会を行い、子ども家庭支援施設など、子どもが孤立しないような施設で食事の提供や音楽祭などのアクティビティを行っている。横浜瀬谷LCでは、中学校の薬物防止運動など、アクティビティの数は多くないがコツコツと継続していきたいと決意が述べられた。横浜BayCityLCでは、小学生の野球大会を開催している。統一奉仕デーでは例年、大通り公園の清掃活動を、約100名のメンバーや家族、一般市民の方と行っている。また、LCIFを全員で100ドル以上やっていきたいと決意が述べられた。横浜中央市場LCでは、中央市場関係のイベントでのアクティビティを行っている。育児支援などの施設に寄付をしている。例会は毎回場所を変えて飽きないような工夫をしている。新横浜LCでは、協賛をいただいた飲食店などで例会を開催している。障がい者施設で寄席を開催し、昨年で10周年となった。横浜川崎レインボーLCでは、来年で10周年、メンバーは10名になる。子ども食堂の支援などのアクティビティを行っている。横浜みなと一馬車道LCでは、子ども食堂・子どもホスピスの支援、馬車道通りでマルシ

エを開催するなどのアクティビティを行っている。また例年開催している「イングリッシュ・スピーチ・コンテスト」の優勝者には、YCEを通して海外派遣を支援している。またクラブ支部の劇団と連携してアクティビティを行っている。横浜みなとマリノスLCでは、会員増強に苦戦している。会員増強は40名が目標で、8月で17名プラスの30名になった。間口を広げてライオンズを知ってもらうことを心掛けている。横浜みなとみらいLCでは、例会にゲストを多く呼ぶようにしている。ウクライナ難民の支援としてクリスマス会を開催。今年も何らかの形でウクライナ難民の支援をしたい。入会歴が浅いメンバーのために、ライオンズクラブの勉強会を開催している。横浜シニアLCでは、例会を中華街で行い、メンバーで楽しんでいる。カンボジアの子どもを支援している団体への支援や、旅行例会、忘年カラオケ例会などを企画し、メンバーで楽しみながら取り組んでいる。

最後に石田ガバナーは、「皆さんの意見を参考にしたい。たくさんの活動をお聞きし感動した」と述べ、各クラブ会長を激励した。

取材：地区ニュース

委員長 L石井 光一

2R

ガバナー公式訪問合同例会・小会議



●2R小会議



●ガバナー歓迎の挨拶する富弥2R C



●新入会員

9月6日(水)、石田真一地区ガバナーの公式訪問・小会議が15時30分より横浜市中区のロイヤルホールヨコハマ3階シンフォニーにて開催された。

金田雅昭キャビネット副幹事が司会を務め、倉田雅史第1副地区ガバナーの開会の言葉、柳室敏明キャビネット副幹事による出席者役員紹介、大垣建一2R-1ZS・鹿島洋光2R-2ZS・前田光彦2R-3ZSら各ゾーン幹事による各クラブ紹介と続いた。

石田ガバナーは「2Rの3役は若い方とベテラン、さらに女性のバランスが取れた良い配列だと感じたので、このメンバーで今後のキャビネットの運営、会員の増強と維持に協力していただきたい」との挨拶をされた。

キャビネット報告では、出川溪ニキャビネット幹事からServannAデータ見直し作業のお願いと、第60回オセアルフォーラム マニラ大会のご案内があり、谷井弘樹キャビネット会計から

は交付金振込のための口座情報の返信依頼と、地区・複合会費の振込依頼があった。

続いて、各クラブとのディスカッションの時間となり、石田ガバナーからは奉仕活動としてどのようなアクティビティを行っているかと、退会防止・会員維持のための取り組みについて聞かせてほしいとの話があった。

奉仕活動については、盲導犬や介助犬の育成費用補助、ボトルキャップや

古本と古切手の回収、子どもホスピスやフードバンクへの寄付、薬物乱用防止セミナー、NPO法人や企業とタイアップしてのイベント・バザーや学生と合同での清掃活動、花壇の整備、野球教室、さらに2ゾーンでは合同での清掃も行っていることが発表された。

退会防止・会員維持については、例会のオンラインの併用・バーベキュー等の楽しい集い・周年行事をきっかけとしての盛り上げ・会費の減額・年配者には終身会員をすすめる・とにかくメンバーと話をする等の実例を共有した。また年会費についても情報共有を行い、一番高額なクラブは23万円で食事代も込み、一番リーズナブルなクラブは6万円で食事は受益者負担であることもわかった。

最後に、富弥克司2RCから「良いアクティビティを実施して、活性化につなげたい」との所感が述べられ、森川吉孝第2副地区ガバナーによる閉会の言葉にて滞りなく終了となった。

取材・撮影：地区ニュース

委員 L石原 健



3R

ガバナー公式訪問合同例会会・小会議

● 3R小会議



9月20日(水)15時から横浜ベイホテル東急にて、3Rガバナー公式訪問合同例会会・小会議が開催された。

小会議は、石田真一地区ガバナーならびに地区役員と各クラブ2名が参加して行われた。

最初に石田ガバナーより、①自分のクラブの会員を引き止める方法、②特

徴あるアクティビティ、③事務局をどういった形態で雇っているか、という3つのテーマが提示され、それに沿って各クラブが発表を行った。

特色のある活動として、大学と協力してパラグアイへの奉仕活動を行っているクラブや、小川にチューリップを植えその後の管理を続けることで地域

の名所となるまでに育てた等、特色のある活動を各クラブが発表した。

会議の中で各クラブ課題となっているのは、会員増強および会員数維持につながる①であり、コロナ禍で活動できなかったことも影響し、各クラブ問題となっていることが伺えた。

会費の高さがネックになっているの



ではと、負担感を軽減するために、会費の一部を活動ごとの徴収に変更するクラブや、辞めたいと相談があった際、一旦負担の少ない賛助会員を勧める等各クラブのアイデアが発表され、他にもクラブが楽しくなるよう、ゴルフ部・野球部・カラオケ部等を作り懇親を深める活動等が発表された。

合同例会では、石田ガバナーよりもっとエコでクリーンな環境を目指す、②世界にあなたのストーリーを伝える、③奉仕の力をフルに引き出す、④さらに大きな奉仕を実現する、という4つの基本方針の説明があった。

①については前期よりステップフォワード支援金を継続しており、予算も200万円あるのでぜひ活用してほし

い。また、②については、スマイル誌への積極的な投稿や、Lラジや公式LINEもぜひ活用してほしいと呼び掛けた。

その後の懇親会では、コロナ禍が明けて久しぶりの制限なしの交流となり、非常に盛り上がり各クラブの交流が一層深まった。

取材・撮影：地区ニュース

委員 L石川 ゆう

甲府市地方卸売市場



株式会社 甲州青果市場

取締役社長 鶴田 一郎

甲府市国母6丁目5番1号 電話 (055) 228-1791 ・ FAX (055) 228-1799

6R

ガバナー公式訪問合同例会・小会議



●6R小会議



●挨拶する田代6RC



●合同例会

9月22日(金)14時より6Rガバナー公式訪問合同例会が、湯本富士屋ホテルにて開催された。まずは6R所属の12クラブの会長・幹事が参加しての小会議。

石田真一地区ガバナーは「キャビネットまた各クラブの皆様の運営に役立つような有意義な会にしたい」と挨拶を述べられた。

そして、石田ガバナーと各クラブとのディスカッションの冒頭で、①会員維持と会員増強について②アクティビティで工夫をしていること、の2点を伺いたいと話され、各クラブ会長から発表があった。

「会員を一気に10名増やす方法を模

索中」「ワインのコルクを回収しコルクボードに再生するアクティビティ」「例会、継続事業をまじめにきちんとやり、外に向けてのPR」「市の祭りに出店しライオンズをアピール」「会員になっていただけそうな候補者のリストを作成」「インスタグラムを開設し、活動を発信」などの声があがった。

どこのクラブも会員増強については苦勞をしているようだ。クラブメンバーの高齢化も伴い、新入会員が入会しても実質増えていないのが現状のようである。倉田雅史第1副地区ガバナーは「会員増強のためには他団体などとも交流をして、声をかけていこう」と話された。

会場を移動して合同例会へ入り、石田ガバナーから国際会長方針および活動方針について映像を見ながら説明があった。「1人の千歩よりも、千人で1歩を踏み出す。みんなでやっていくことが大事だと思う」と話された。続いて会員の種別、家族会員プログラムについての映像を見た後、各委員会より報告を受け閉会となった。

その後の懇親会では和やかな雰囲気の中、他クラブの方とも交流をして楽しい時間を過ごし、クラブ会長全員のローアで閉幕となった。

取材：地区ニュース

副委員長 L田村 博

撮影：地区ニュース委員 L高杉 昇



7R

ガバナー公式訪問合同例会・小会議

お彼岸を過ぎたばかりの9月25日(月)、7Rガバナー公式訪問がレンブラントホテル厚木で行われた。

15時から行われた小会議では、まず開会の言葉として倉田雅史第1副地区ガバナーが、最大のミッションは会員増強であると挨拶された。

参加者紹介のあと、石田真一地区ガバナーが挨拶をされ、胸襟を開いて共に意見交換をさせてもらいたいと述べられ、その後幹事報告、会計報告のあと懇談会へと入った。

懇談会では、石田ガバナーより「退会防止にはどんなことに気をつけているか、会員増強はどんな工夫をしているか、自分のクラブの特徴、統一奉仕デーをどこでやるかを聞かせてほしい」と切り出した。1Zから順に3Zまで懇談が行われ、最後に石田ガバナーは懇談の中で、「ライオンズのメリットって何なのか」ということについて、「以前からよく言われていることもあるが、ある若い方がおっしゃられたこ

とだと思うが、ライオンズクラブに入ってから良かったことは、普段の仕事や生活では知り合えなかった人と知り合えた。これがメリットであり有意義だったと言われたけれども、本来ライオンズクラブは奉仕活動の団体なので、何ともいえないが…」といい、倉田第1副ガバナーや森川第2副地区ガバナーからも意見を聞くことができた。また、石田ガバナーは、お歳を召されてやめる会員の方については終身会員という会員もあるので、それを利用してみるのもいいのかと話された。

その後赤井和憲7R-1ZCより、「ゾーン再編が叫ばれているが、それはガバナーの専権事項でありキャビネットの承認が必要とのことだが、私たちがクラブで話し合うのにあたりこれからの進め方についてガバナーからお話を伺いたい」と意見が出た。すると石田ガバナーは、ガバナーとして最終的には決めなければならないと思うが、まずは8Rと13Rのリジョン再編でも

行われたように、クラブ会長だけでなく、RC、ZCを含め全メンバーに至るまでよく話し合っていたいただき、ある程度わかまりのない状態にして、皆さんの賛同を得てゾーンの再編を行ってもらえればと発言された。

その後、平本明子7RCより所感の挨拶があり、「コロナウイルス感染症による行動規制の中で厳しい時期を乗り越えて、今後とも友愛と相互理解の精神で社会奉仕活動を行っていききたい」と話された。

閉会の言葉として森川第2副ガバナーは「アクティビティや例会のさまざまな例を伺い、さらに良いアクティビティを行ってほしい。ゾーン再編についてもよく話し合って進めてほしい」と述べられた。

その後、合同例会に会場を移し、開会の言葉を赤井ZCが行い、次に平本RCが挨拶を行ったが、その中で「本日の午前中、壇上にお花を生けました。私の感謝の気持ちです。ぜひ皆さんに



ご覧いただきたい」と大変素晴らしい生け花を披露された。

次に石田ガバナーは「7Rはさまざまなアクティビティを実施され、また問題を抱えていることもわかりました。RCやZCからは情熱的に地区のトップにのし上げていこうという気持ちが伝わる小会議でした。また、疲れていたところにこの生け花でほっとしました。

一堂に並べられたクラブ旗について、さすが7Rである。これらがさらに一つ二つと増えていくことを祈念している」と挨拶された。

その後、倉田第1副ガバナー、森川第2副ガバナーの挨拶のあと、石田ガバナーから国際会長方針・ガバナー活動方針が発表され、ミッション1.5を力強く説明された。続いて、新入会員、

スポンサー紹介、LCIF献金者の発表などを経て、閉会の挨拶となり、田中信一7R-2ZCが閉会のゴングを鳴らした。

このあとの懇親会では山口朋子7R-3ZCが挨拶をされ、メンバーたちはにぎやかに親交を深めた。

取材・撮影：地区ニュース

委員 L渡辺 博士



**橋梁架設工事・耐震、補修工事・土木工事
重量品機器搬入据付工事・一般貨物運送**

株式会社 中部

〒409-3813 山梨県中央市一町畑 912-1 TEL 055-273-1771 FAX 055-273-1774



●服部9RC(右)・村松1ZC(左から2人目)・大矢2ZC(左)

9Rのガバナー公式訪問小会議が、9月26日(火)15時よりメルキュールホテル横須賀にて行われた。冒頭、石田真一地区ガバナーは、「9Rは、私が第2副地区ガバナーの時に、亀井真司元地区ガバナーはじめ9Rの皆様にはお世話になった。今日は、各クラブ会長の皆様と胸襟を開いて対話したい」と挨拶があった。幹事報告・会計報告のあと、座談会が始まった。

会員増強や退会防止、取り組んでいるアクティビティ、統一奉仕デーなどについて、クラブ会長より取り組みが発表された。

横須賀LCでは、統一奉仕デーで海軍と清掃活動を350名ほどで行う。クラブ運営では、横須賀っぽさを出すように取り組んでいる。横須賀中央LCでは、退会防止策、賛助会員で残ってもらう工夫をしている。横須賀南LCでは、平均年齢が高く約75歳。退会防止には年齢の問題があり苦労しているが、久しぶりの新入会員が入るとい

う。統一奉仕デーでは、9R-1Z全体で、ライオンズフェスティバルを開催する。横須賀市の後援や青年会議所と共同で行う。また、会員増強において、起業したての若い方はどうしても忙しいので、ベテランメンバーでサポートするように工夫している。石田ガバナーは、「年齢で会費を工夫しているクラブがある。参考にしてみては良いのではないか」とアドバイスを送った。横須賀北LCでは、メンバーの年齢が高いため、体調等で例会に来られない方がいる。アクティビティはコロナの影響でなかなかできていなかったが、今年からできるようになった。小学校で薬物防止教室5校。これを活用して会員増強に取り組んでいきたい。石田ガバナーは「アクティビティで足元を固めながら活動してもらいたい」「他のリジョンで、メンバーが友人知人を1人誘って、200%出席例会をやっているところがある。ぜひ参考にしていただきたい」と激励があった。横須賀東

LCでは、ゴルフや飲み会でコミュニケーションをとっている。無縁仏の清掃・供養。久里浜の海岸清掃などに取り組んでいる。横須賀衣笠LCでは、会員の高齢化が問題。アクティビティは、地元の衣笠商店街とコラボして活動している。横須賀みかさLCでは、統一奉仕デーは盲導犬キャラバン。募金・パネル展示を行う。LINE・FacebookなどのSNSを活用して会員増強につなげていこうと取り組んでいる。石田ガバナーは「今後は、マイライオンを活用して行ってほしい」とアドバイスを送った。三浦LCでは、家族会員を10名目標に増やしていこうとしている。鎌倉LCでは、コロナでできなかった今までのアクティビティを復活させ、少年野球チームと募金活動を行う。また、親睦ゴルフを年に10回開催。現在まで550回を超えている。会員・非会員問わず、参加者を募り、親睦と会員増強につなげている。鎌倉西LCでは、賛助会員が例会に出てくれる。アクティビ



ティは、深沢高校の生徒150名ほどと川清掃。また、毎年畑を借りて、秋には芋堀り大会を行っている。地域の子供会100名ほどが集まるという。

最後に服部忠男9RCは、「活発なご

意見に感謝したい。どこのクラブも会員増強に苦戦している」と述べ、「アクティビティで地道に足元を固めていくことが大事だと感じた。地域の特性を生かした活動を続けていくことが大切

だと感じた」と語った。

取材：地区ニュース

委員長 L石井 光一

撮影： //

アドバイザー L近野 照彦

5R ガバナー公式訪問合同例会・小会議

■ 小会議

『情熱と真心』をパーソナルテーマに船出をした石田真一地区ガバナーの公式訪問が行われ、9月27日(水)川崎市高津区のホテルARU KSPにおいて、キャビネット役員、5R9クラブの会長・幹事出席のもと小会議が開催された。

開会にあたり倉田雅史第1副地区ガバナーより「公式訪問も残すところ3地区となりました。石田ガバナーの運営方針をご理解いただき皆様の貴重なご意見をお聞かせいただきたい」との開会の挨拶で小会議が始まり、石田ガバナーからは「地元川崎は人口も増加しており伸びしろがあります。地域は元より奉仕団体ライオンズクラブの力

を結集して、厳しい状況こそ『情熱と真心』を持ち、奉仕活動に精進しましょう」とのご挨拶があった。

続いてキャビネット幹事・会計の報告の後、ガバナーと各クラブとのディスカッションとなり、ガバナーからは、退会防止の取り組み、新入会員勧誘活動、クラブ周年行事、統一奉仕の日程と奉仕内容の4点について各クラブの状況の確認があった。

各クラブからは退会防止、新入会員については総じて厳しい状況であることが報告されたが、メンバー数が40名にならんとするクラブからは多いなりに苦労があるとのうらやましい話もあった。いずれにしても各クラブ共、地域に根ざし工夫を凝らしてのクラブ

運営が行われているとの報告であった。

終わりにガバナーのサブテーマ『明るく！楽しく！元気よく！』の思いを胸に、「ライオンと呼ぶる人」「彼こそライオンと呼ぶる人」が一人でも多く増えることを願い小会議を終了し合同例会の会場へ移動となった。

5R-1Z 川崎巽LC L松原 成文

■ 公式訪問合同例会

続いて、小会議の後18時より合同例会が始まった。原嶋 晃5RCのガバナー歓迎の言葉の後、石田ガバナーの挨拶があり、「小会議を終えての感想は各クラブとも地域に根ざした奉仕活動を実施しており、それが川崎らしい奉仕活動となっていて、とても大切なこ





とだと感じた」と話された。

ガバナー方針は国際会長方針『Changing the World』からもらった『世界を変える』とパーソナルテーマ『情熱と真心』。川崎地区だから特別なのか、一生懸命語る姿にいつもは平和主義者で温厚な石田ガバナーの情熱と真心を感じた。

国際会長の方針説明では、まず第1番目に「Mission 1.5」について。世界の会員数を134万名から150万人へ!! よりメンバーが増えることによって、できる奉仕の質もスケールも変わるということ。

キャビネットポリシーとして、

- ①クリーンな環境
ステップフォワード支援金の増額、ワクチン支援のエコキャップ運動
- ②世界にあなたのストーリーを伝える
自分たちの奉仕活動を世界に伝える、Lラジの継続、IT・ICTを活用しクラブの業務の簡素化・合理化を推進
- ③奉仕の力をフルに引き出す
新しい奉仕活動、会員増強、他クラブ・ゾーン・リジョン合同でのコラボレーション奉仕、ニーズに合った新クラブ・支部の結成
- ④さらなる大きな奉仕の実現

LCIFの活動の正しい理解、戦争・紛争・自然災害に対して世界的支援、LCIFの支援と享受

そして、最後に井田 渉地区GMTコーディネーターによる会員増強・維持のための啓発ビデオが流された。

中身の濃い合同例会だった。懇親会も和気あいあいと、メンバーの皆さんはコミュニケーションをとっていた。コロナ後、5Rは昨年も小会議だけだったので、久々の合同例会、懇親会はとても楽しく過ごすことができた。

(特別)財務・法人化検討委員長

L原 輝男(5R-1Z川崎巽LC)

魅力ある街の
魅力ある賃貸マンションに
住んでみませんか?

Advanced Home

株式会社アドバンスホーム

代表取締役 山本直正(川崎リパティLC所属)

神奈川県川崎市中原区小杉町1-509-1

マイキャッスル武蔵小杉III 401号室

TEL 044-711-3722

FAX 044-711-3753

MAIL adh@advanced-home.jp

WEB www.advanced-home.jp

武蔵小杉
musashikosugi

新丸子
shinmaruko

高津
takatsu



8R

ガバナー公式訪問合同例会・小会議

●新入会員とスポンサー



8Rガバナー公式訪問が、9月28日(木)ロイヤルホールヨコハマにて開催された。

14時から石田真一地区ガバナー、倉田雅史第1副地区ガバナー、森川吉孝第2副地区ガバナー、1Z、2Z、3Z各クラブ会長による小会議が開かれた。17クラブの大きなリジョンとなって初めての小会議は、出席者の紹介だけで8分以上かかる大所帯の会議となった。

石田ガバナーは「これだけ集まると壮観ですね。歴史と伝統のあるクラブから新製のクラブまで調和の取れた楽しそうなりジョンであると思います」と挨拶された。その後キャビネット報告が行われた後に各クラブとのディスカッションとなった。

ガバナーは4つの項目について各クラブに聞きたいとのことで各クラブ会長からの発言があった。

- 1 退会防止・新入会員募集について
- 2 統一奉仕デーの実施について
- 3 自クラブの周年行事やアクティビティへの協力依頼など
- 4 新生8Rになっての意見

周年行事については50周年のクラブが3つあり、1Z藤沢湘南LC、2Z綾瀬LC、茅ヶ崎グリーンLCが周年行事を行うとのことだった。また新生8Rについては前向きな意見が大半であり、日本一のリジョンにしようとの意見も出た。

最後に木藤晴彦8RCから「新生8Rとして8Rと13Rが合併されただけではなく、2Z、3Zはゾーンの再編もありました。そのクラブが集まって会議ができたことは有意義だと思います」と小会議を締めくくった。

合同例会では木藤RCの先導で、石田ガバナーがテーマソングの流れる中、会場を回って入場した。その後相模原シティLCの甘利 明衆議院議員がガバナーへの歓迎の挨拶を述べ開会となった。

ガバナー歓迎の挨拶で、木藤RCは「神奈川県中央部に位置する大きなエリアで活動するリジョンになります。ここ数年コロナで低迷していた活動をどのように立て直すかが大きな課題になります」と述べた。

続いて、石田ガバナーが「先ほど2時間半小会議で意見交換をさせていただきました。長いかと思っておりましたがあっという間に過ぎてしまいました。新生8Rについての意見を聞きましたが、皆さんから活気が出てきているのを感じます。ライオンズクラブの組織は三角形のピラミッド型を思い浮かべられるかと思います。これを逆にして、木の根が国際協会、幹が地区、そして枝のRC、ZCから各クラブにつながり奉仕の青々とした葉が生い茂る。このようなことを目指していきます」と力強く挨拶された。

その後倉田第1副ガバナーは「8Rと13Rの統合という難題を乗り越えていただきましたが、本日の小会議での各会長の話を聞いて一安心しました。国際本部では会員増強の大きなプログラムがスタートしました。今日、これだけの新入会員を迎えていただき素晴らしいです」と挨拶された。最後に森川第2副ガバナーが「8Rは新しいスタートとなりましたので『真心と情熱』を持って大きな新しい風を吹かせていきましょう」と述べられた。

続いて国際会長の活動方針のビデオ視聴の後、石田ガバナーより4つの重点項目として「もっとエコでクリーンな環境を目指す」「世界にあなたのストーリーを伝える」「奉仕の力をフルに引き出す」「さらに大きな奉仕を実現する」それぞれについての説明がされた。

その後石田ガバナーより各クラブへ、クラブ事務局員、新入会員・スポンサーへの記念品の贈呈、LCIF献金者からガバナーへの目録の贈呈に続き、ガバナーよりLCIF献金者への記念品の贈呈が行われ、合同例会は閉会した。

懇親会は吉本晴夫元地区ガバナー、阿部英明元地区ガバナーの挨拶に続いて、出川溪二キャビネット幹事の乾杯にて開始された。

PRタイムでは、委員会からの報告・クラブ周年行事のPRなどが次々に行われ、活気あふれる懇親会となった。



●クラブ会長ローア



●MJF献金メンバー

ライオンズ・ローアは谷井弘樹キャビネット会計が行い、「また会う日まで」では大きな会場いっぱいになる輪を作り、全員で大きなリジョンを実感した。閉会の挨拶では、鳥居眞弓地区FWT

コーディネーターが「これだけの人数で女性が少ないのが寂しいです。女性会員を増やしたい」と語られた。新生8Rは神奈川県を縦に2分する地域となり、今回の出席者も200名を

超えた。新年賀詞交歓会は1月29日にレンブラントホテル町田にて開催されることも決まった。
取材・撮影：地区ニュース
副委員長 L野田 寛

4R ガバナー公式訪問合同例会・小会議



●4R小会議

10月5日(木)15時30分より川崎日航ホテルにて4Rガバナー公式訪問合同例会・小会議が開催された。およそ2時間にわたり開催された小会議では、石田真一地区ガバナーの「胸襟を開いて本音でお話をしましょう」

との挨拶の言葉のもと、①会員の退会防止 ②新入会員の加入促進 ③新しいアクティビティ ④クラブのPR、以上4つのテーマについて、各クラブからの報告と、石田ガバナーとのディスカッションが行われた。

休憩を挟んでの第2部では、「4Rの会員数・クラブ数の減少について、未来を踏まえて、各クラブの考えや意見を聞かせてください」との石田ガバナーの要望のもと、意見交換が行われた。ディスカッションは、難しいテーマ



●公式訪問の最後はお膝元4Rで開催



●LCIF 献金メンバー



●新入会員とスポンサーメンバー

ではあるが、今期引き続き検討していくことで合意となった。

小会議の後は17時30分より合同例会が開催された。

石田ガバナーの330-B地区最後の公式訪問であり、お膝元の訪問でもあるため、ガバナーならびに地区役員入場では、会場から盛大な拍手と歓迎の声があがった。

合同例会では、国際会長方針と石田ガバナーの地区運営方針が発表された。

石田ガバナーの重点項目は、
 ・もっとエコでクリーンな環境を目指す
 ・世界にあなたのストーリーを伝える
 ・奉仕の力をフルに引き出す
 ・さらに大きな奉仕を実現する
 いずれも国際会長の方針と合致しており、会場の参加者と共有された。

そしてお待ちかねのガバナー公式訪問歓迎夕食会では、参加者全員で飲食と歓談を楽しんだ。

「また会う日まで」合唱の後、石田ガバナーと地区役員を、100名を超す参加者全員の拍手で見送り、歓迎夕食会はお開きとなった。

取材・撮影：地区ニュース

委員 L徳永 博之

そば粉・各種乾麺・お菓子他
 ホームページからも購入できます！

久津間製粉 *クリック！*

**小売り
 いたします**

⑦印そば粉製造本舗

久津間製粉株式会社

本社：小田原市久野2358 ☎0465(34)1157
 横浜営業所：横浜市旭区今宿西町224-2 ☎045(954)2357
<http://www.kutsuma.co.jp>

よみがえ

蘇れ!かわさきの海『真鯛稚魚 放流』

8月26日(土)4R-1Z統一奉仕デーとして、東扇島東公園の人口海浜「かわさきの浜」において、子どもたちによる稚魚の放流が行われた。

稚魚の放流活動は、市民に「かわさきの浜」を知ってもらい、きれいな海を取り戻すきっかけにしておらうと、川崎田島LCの故渡辺光一氏が会長を務めていたNPO法人川崎の海の歴史保存会が企画、川崎田島LCとともに2008年に合同で開催したのが始まりだそうだ。

今年は4R-1Zの統一奉仕デーのアクティビティとして行われた。イベントは、勝俣圭司4R-1ZC、石田真一地区ガバナーの挨拶の後、子どもたちにより真鯛の稚魚が放流された。

今期の統一奉仕デーのテーマは『地球環境保全』

『人と自然との融和』が切実なテーマである現代社会において、全ての命



の源である「海」との係わりを今一度見つめ直し、参加した子どもたちに「環境問題や美化活動に関心をもってもらう」をテーマとして開催された。

今回も、多くの川崎区内の小学生や、ボーイスカウトの子どもたちが参加して、真鯛の稚魚1,000匹の放流を行った。

主催者からイベントの最後に「本イベントの開催に支援を賜りました

(公社)神奈川県栽培漁業協会をはじめ、多くの関係者に心より感謝申し上げます。かわさきの海がますますきれいになり、放流した稚魚が大きく育ち、悠々と泳ぐ姿を見られるように、来期も活動を継続していきたいと思います」と感謝の言葉と抱負が語られた。

取材・撮影：地区ニュース

委員 L徳永 博之



株式会社資産相談センター

税理士法人資産税務相談センター

代表取締役 神戸 幸男 8R-2Z 茅ヶ崎オーシャンライオンズクラブ所属

〒251-0041 藤沢市辻堂神台 1-3-39 オザワビル 5F 電話 0466-34-1180

<http://s-soudan.co.jp>

資産相談センター

検索

相続
対策税務
対策土地
活用借地
整理



小田原ライオンズクラブ主催
第39回イングリッシュ・スピーチ・コンテスト
 協賛：ライオンズクラブ国際協会 330-B地区6R内各クラブ 後援：小田原市



9月23日(土・祝)、6R内の高校に通学ならびに在住の高校生を対象とした、第39回イングリッシュ・スピーチ・コンテストが小田原市生涯学習センターにて開催された。

この事業は青少年育成の一環として毎年開催されてきたが、コロナ禍ではリモート開催となり、今年は3年ぶりにリアル開催となった。多い年では20名以上の生徒の応募があり、コンテストに参加できない生徒も多かったようだが、今年は4高校、10名の生徒での開催となり「一度止まりかけたことを再度動かすのは大

変」とは勝俣好雄会長の言葉だった。

石田真一地区ガバナー、倉田雅史第1副地区ガバナー、森川吉孝第2副地区ガバナーの挨拶の後に、コロナ禍で海外に派遣できなかった前回優勝者の生徒に記念品が贈呈された。

コンテストでは生徒たちが緊張しながらも、『環境問題』『政治問題』『動物問題』『感謝の気持ち』などのテーマを発表。日本語で伝えることも難しい内容を英語でスピーチしている姿をみると、この先の日本を先導するたくましさを感じた。

優勝者は「人生における大きな壁」

を発表した1年生の生徒で、感動的で力強いスピーチに惹きつけられた。優勝者には海外派遣証が授与され、海外生活の経験でさらに英語に磨きがかかることでしょう。

審査時間が長くなるほど実力が拮抗していたが、全ての高校生の輝く瞳に感動し、初心に戻り、清々しい気持ちにさせてくれた。

生徒たちにはかけがえのない財産となる舞台が用意され、素晴らしいアクティビティだと感じた。

取材・撮影：地区ニュース

委員 L高杉 昇

大手旅行会社に負けない「無理とこまわり」が得意です！

代表取締役 大貫文夫 / 横浜保土ヶ谷LC所属 在籍41年 (1982年330-B/3R-1Z入会)

【330-B地区 旅行手配実績】担当させていただきました
 2022年第 59回 OSEALフォーラム韓国済州島大会
 2023年第105回 ポストン国際大会

少人数のグループ旅行から団体旅行まで、1979年創業の豊富な実績とアレンジ力にお任せください 神奈川県知事登録2-397 JTBパートナー店



株式会社 **とらるわん**

TEL:045-335-1213

〒240-0003 横浜市保土ヶ谷区天王町1-25-9 <http://www.travel1.co.jp>
 FAX:045-333-3733 Mail:info@travel1.co.jp 平日10:00~18:00土日祝休



町をあげての協力に感謝しています!!



寒川LCでは寒川町役場で8月・11月・3月の3回、その他11月にさむかわ中央公園で開催される寒川産業まつり会場で実施する献血を合わせて、年間4回の献血を実施しています。

現在の木村俊雄寒川町長は寒川LCの奉仕活動に大変協力的で、寒川LCが毎月実施している寒川町役場周辺の県道・町道花壇の花植え事業にも

町長自ら多くの職員を引き連れて参加していただいています。

寒川町役場で開催する献血奉仕活動にも毎回多くの町職員の皆さんが忙しい時間を割いて協力して下さる他、寒川神社の神職の皆さんも神職の装束のまま来て献血に協力して下さいます。

8月4日(金)に実施した今回の献血では、猛暑にもかかわらず74名の

方に受け付けしていただき、66名の方の貴重な血液を25,800mlもいただくことができました。

このように寒川LCで実施する献血では毎回多くの血液をいただくことができ、神奈川県赤十字血液センターからは毎回感謝の言葉をいただいています。

8R-2Z 寒川LC

会長 L藤澤 輝夫



心と技で未来を拓く

東海ビルメンテナンスグループ

信頼されるソリューション・パートナー企業を目指して

地元山梨の人と企業を元気にする広告代理店



求人サイト
国中版 都内版 プラス
[毎週日曜日発行]



AIQジョブ
山梨県最大級の求人総合サイト



山梨情報ポータルサイト
PORTA



あなたのお仕事コンシェルジュ
ジョブコンシェル

●各種広告・印刷物の企画/制作 ●採用・現有社員の適性検査業務「CUBIC」



特別感のある一日「家族みんなで音楽会」



もし、障がいを『個性』として輝かせることができるのであれば、音楽というジャンルはそのサポートに最適なジャンルのひとつ——プロの音楽家たちが集まって結成された大和artisticクラブ支部では、大和駅北口徒歩2分のK-sax Music Support内にある「Musica Hidratante (ムシカ イドゥラタンテ)」で2カ月に1度、音楽会を主催している。

夏の音楽会を開催♪

夏休み真っ最中の8月20日(日) 10時30分から障がいのある方とそのご家族を対象とした「家族みんなで音楽会」を開催した。

この日は『特別感のある一日』をテーマに、企画の中心である村越万利子L(声楽)のアイデアがたくさん盛り込まれた、夏らしさを感じられる楽しい音楽会とするため、大きく2つの内容で行われた。

●手作り楽器

空のペットボトルに好みの造花やビーズを入れ、波の音が鳴るオリジナル楽器を作成し、唱歌「海」に合わせて合奏。

●「ファゴット」という珍しい木管楽器の鑑賞

ファゴット奏者 市原聖子氏を円形に囲み、特殊な指の動かし方を至近

距離で鑑賞。

楽器の作成補助や全体の見守り隊として大和中央シティLCメンバーや、振付や歌の補助には小学生ボランティアが参加してくれたことで、会場全体が温かみのあるアットホームな雰囲気となった。2カ月に1回のご褒美の日として、対象者のみではなく親御さんからも喜ばれた1日となった。

「家族みんなで音楽会」の年内の開催は、10月15日(日)と12月17日(日)を予定している。

大和artisticクラブ支部

会長 L北嶋 恭子



CARE WORK

オセアンケアワーク株式会社



営業品目：NC、MCによる精密機械加工、高圧・高真空溶接

諸設備：NC施盤、SL650型他8台、縦型マシニングセンター6台、Tig、Mig溶接設備合計4台

SUN 有限会社 サンテック

代表取締役 森川 吉孝

〒236-0002 横浜市金沢区鳥浜町14-9 TEL.045-774-1711(代) FAX.045-774-0950
E-mail : suntec@gw1.u-netsurf.ne.jp URL : <http://www.yu-suntec.co.jp/pc/>

Kensho

建設業許可 神奈川県知事許可(般-29)第78859号

建築・土木一式総合建設業

株式会社 建 匠

取締役会長 石田 真一 (川崎臨海ライオンズクラブ所属)

〒210-0863 川崎市川崎区夜光一丁目7番9号 塩浜ビル301

E-mail: ishida@kensho-inc.co.jp TEL.044-270-2275 FAX.044-270-2276

賃貸・管理の
専門店



いい部屋さがしのおてつだい

神奈川県知事免許(14)第6566号

(有)太平商事

<http://www.c-taihei.co.jp>

茅ヶ崎駅前 本店 〒253-0044 神奈川県茅ヶ崎市新栄町12-12 TEL0467-82-2063 FAX0467-87-6070
3店舗 元町 〒253-0043 神奈川県茅ヶ崎市元町4-39 TEL0467-88-1123 FAX0467-88-1146
南口 〒253-0044 神奈川県茅ヶ崎市幸町2-10 TEL0467-84-6655 FAX0467-86-3636
茅ヶ崎グリーンライオンズクラブ所属

税は事前の相談が第一歩

「おかげさまで創業48年」

吉本会計事務所

所長・税理士 吉本 晴夫
(藤沢中央ライオンズクラブ所属)

〒251-0042 神奈川県藤沢市辻堂新町1-1-17 プレール湘南辻堂1401
TEL 0466-36-8742(代表) FAX 0466-35-5001 E-Mail yosimoto@aria.ocn.ne.jp

山梨県甲府市太田町四一七
TEL.05523352075



和(なごみ)



甲府若葉LC

小 尾 武

小松表具店

代表 小松 和 芳

(横浜戸塚中央 LC)

携帯 . 090-4626-0917

〒245-0006 神奈川県横浜市泉区西が岡 1-31-20
TEL.045-814-5043 FAX.045-814-5047
E-mail. komatu5043@gmail.com



地区ニュース委員会
副委員長
L. 田村 博

7月7日、今日は第1回地区ニュース委員会の日だ。私は電車を乗り継ぎ辿り着いた、約13ヶ月ぶりのキャビネット事務局の扉に手を掛けた。2年前のちょうど同じ時期に、初めての地区役員として事務局に来た時のことを思い出す。その時はかなり緊張をしたものだが、今回は余裕がある。そう、地区役員2回目である私の経験値は上がっているのだ。

しかし、そう思ったのも束の間、事務局へ入ってから席札を見ると「副委員長」の文字。一気に緊張感が増す。「私に務まるのだろうか…」不安がよぎった。だが、始めてみれば和やかな雰囲気。そして恒例の懇親会。2年前と変わらない。これならやっていけそうな気がしてきた。



こうして私のライオンズ4年目のシーズンがスタートしたのでした。

地区ニュース委員会は今期で2回目になります。初めてお会いする方も多く、新しい出会いに恵まれたことをうれしく思っています。この人と人とのつながりが、ライオンズクラブの素敵などころでもあり感じています。

スマイル誌の作成には、取材に行ったり仕事の合間に記事を書いたり慣れない作業も多く大変ではありますが、皆様が一度は手に取っていただき読んでくだされば作成に携わった我々もうれしく思います。

そして来年の6月には私自身の経験値が上がっていることを期待しつつ、この1年間を楽しく活動してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

- 自動車硝子
- ラジエーター修理販売
- リペア施工
- テフロンコーティング
- フィルム施工
- 船舶資材販売
- 船舶硝子
- 産業廃棄物リサイクルシステム販売



有限会社
湘南安全硝子

代表取締役会長 濱田 徹

- 本社 〒239-0808 横須賀市大津町1-16-43 TEL.046-836-9481 FAX.046-834-3715
- 金沢営業所 〒236-0055 横浜市金沢区片吹69-26 TEL.045-784-8389 FAX.045-784-8391

金子税務会計事務所

所長・税理士 金子 圭賢 (川崎北ライオンズクラブ所属)

〒106-0044 東京都港区東麻布1-3-3 TEL.03-3583-1848・FAX.03-3583-1320

E-mail : keiken@azabutc-kaneko.com



●発行日 2023年10月27日

9・10月号

Eメールアドレス
cab.desk@lions330-b.jp

ホームページアドレス
https://lions330-b.gr.jp/

●発行
ライオンズクラブ国際協会
330-B地区キャビネット事務局
地区ニュース委員会
〒231-0038 横浜市中区山吹町1-7
パークノヴァ伊勢佐木長者町201
TEL.045-334-8670
FAX.045-334-8673

●発行責任者
地区ガバナー 石田 真一
●編集責任者・委員長
2R 石井 光一 (横浜サンセット21LC)
●アドバイザー
1R 近野 照彦 (横浜梅櫻LC)
2R 中井 弘明 (横浜シーサイドLC)
●副委員長
6R 田村 博 (秦野LC)
8R 野田 寛 (茅ヶ崎グリーン)

●委員
2R 石原 健 (横浜桜美林LC)
3R 石川 ゆう (横浜泉LC)
4R 徳永 博之 (川崎田島LC)
5R 石塚 静 (川崎翼LC)
6R 高杉 昇 (小田原白梅LC)
8R 渡辺 博士 (大和中央シティLC)
10R 中西 将志 (甲府南LC)
10R 長坂 正 (北社LC)